

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

令和6年度 事業目標

目 標	利用者のニーズや要望を把握し、利用者の声を反映させたサービスを行うことで、より安心した生活の場を目指す。
理 由	感染症対策等から多数の人と関わる機会が少ない環境の中、趣味や興味・関心のあることを把握し、一人ひとりに寄り添ったサービスを提供したいため。 リラックスとリフレッシュの場を提供し、ストレスの軽減を図っていくことで、利用者それぞれにとって、快適な生活の場にしたいため。
具体的対応策	1. 趣味や嗜好、興味・関心のあることを聞き取り、自宅から持参できる物は依頼し、いきがい活動を継続する。 2. 感染症予防対策を講じながら他利用者や職員とも個々の楽しみを共有し、一緒に活動していくことで、生活意欲の向上を図る。 3. 利用者と家族に満足度を含めた利用時の生活状況に関するアンケート調査を継続して実施し、客観的に検証した集計結果をもとに支援や対応方法を担当職員間で協議し、意識統一を行う。また、意思疎通の難しい利用者に関しては、家族に意向確認を行う。 4. 担当職員間で月1回の話し合いの場を設け、情報共有していくことで、サービスの質の向上に努める。 5. 環境を整備し、利用者が「居心地が良い」と感じられる空間作りに努め、稼働率の向上を図る。

令和6年度 事業報告

事業報告	利用中の個別面談を適時行ったとともに、担当者会議や送迎時などの機会も利用し、家族からも意向を伺ったことで、サービス内容に対する具体的な意見や改善点を把握することができた。 また、利用者や家族、担当介護支援専門員からのフィードバックを基に、事業所内の環境整備や職員の関わり方などの見直しに取り組み、迅速に対応した。利用者の得意なことを他利用者に共有する時間なども作り、教え・広める側にまわることで、その方にとっては、意欲向上や自信になっただけでなく、良好な交友関係の構築にもつながっている。積極的に家族や担当介護支援専門員とも連絡を取り合い、お互いの困り事等を早急に知り、こまやかなサービス提供に努めていることで、利用者や家族の安心や安堵につながり、継続利用や宿泊日数の延長となっている。 毎月第3月曜日に行っている「お花あそび」の会は好評で、感染症対策に配慮しながら楽しんで頂けるよう実施し、利用者間の交流の場となっている。 引き続き担当者会議や連絡帳で利用中の体調や活動内容などを報告していることで、家族にとっては、利用時の様子が事細かに分かり、安心という声をたくさん頂いている。このことは職員の励みとなり、より良いサービス提供にもつながっている。また、家庭事情等から継続利用している利用者には、電話連絡や面会などを通して、家族に事業所内での生活状況や体調など日常の様子をより分かりやすく伝え、安心を図っている。 より良いサービスを行うために担当職員とも個人面談や会議の場を設け、今後、取り組みたいことや困りごとについて、意見交換を行い、業務改善に向け、取り組んでいる。
事業運営総括	6年度の稼働率は100.1%と、5年度と比較すると1.0%上昇し、過去最高の数値となり、安定した稼働率となった。新規利用者の獲得については、令和6年度は54名と前年度とほぼ同じであった。6年度も12月下旬に利用者から新型コロナウイルスとインフルエンザの感染者が出たことで、感染症対策として、年末年始の受け入れを急遽休止し、利用者や家族の方々に心配と迷惑をかけたが、他の方への感染は防ぐことができた。 今後も感染症に対する対策を事業所内で再検討し、稼働率の維持ができるよう努めていきたい。また、引き続き併設特別養護老人ホームの介護支援専門員や他居宅介護支援事業所の介護支援専門員と連携を図り、利用者や家族のニーズに臨機応変に対応できるように受入れ体制を整えていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 2.27》

令和7年3月31日 現在

	人 数	割 合
要支援 1	0	0%
要支援 2	0	0%
要介護 1	14	35%
要介護 2	5	13%
要介護 3	17	43%
要介護 4	3	7%
要介護 5	1	2%
合 計	40	100%

月間利用実績（人数）

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	1	0	0	2	2	3	2	3	3	1	0	17
要支援 2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護 1	12	10	13	14	13	15	15	12	14	13	15	14	160
要介護 2	11	8	6	7	7	6	6	8	4	3	5	5	76
要介護 3	15	14	14	12	13	13	12	12	12	16	16	17	166
要介護 4	2	3	4	4	5	3	4	5	4	3	2	3	42
要介護 5	1	1	2	3	2	2	3	3	3	2	2	1	25
合 計	41	37	40	41	43	41	43	42	40	40	41	40	489

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 100.1%》

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	4	0	0	3	5	10	5	8	7	2	0	44
要支援 2	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	7
要介護 1	53	65	65	72	48	59	62	47	57	58	64	59	709
要介護 2	58	36	37	33	39	33	31	43	22	18	27	35	412
要介護 3	139	144	121	104	128	127	106	117	136	142	117	145	1,526
要介護 4	27	49	75	68	81	60	59	59	50	45	56	63	692
要介護 5	16	14	15	25	13	39	46	24	21	16	23	11	263
合 計	293	312	315	304	315	323	314	295	294	286	289	313	3,653

曜日別延べ利用実績

令和6年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人 数	546	498	520	536	546	510	497	3,653
割 合	15%	14%	14%	15%	15%	14%	13%	100%

1週当たり平均利用人員

令和6年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人 数	10.3	9.58	10	10.3	10.5	9.81	9.56	70.05	10.01
割 合	15%	14%	14%	15%	15%	15%	13%	100%	—

年齢別構成状況

令和7年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合 計
男	0	1	0	0	2	0	4	7
女	0	1	0	3	7	9	13	33
全 体	0	2	0	3	9	9	17	40

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4 月	お花見会	ドライブ外出	トランプゲーム
5 月	おかずバイキング	塗り絵	口腔体操
6 月	スイーツバイキング ドライブ： あじさい、蓮の花観賞	おやつ作り	リハビリ体操
7 月	七夕会	七夕飾り作り	絵合わせゲーム
8 月	夏祭り	歌唱	ブロック積み
9 月	寿会	ハロウィン飾り作り	口腔体操
10 月	ドライブ：コスモス観賞	パン作り	リハビリ体操
11 月	やながせ文化祭 パーベキュー大会	クリスマス飾り作り	数字合わせゲーム
12 月	クリスマス会	餅花正月飾り作り	輪投げ
1 月	初詣	鍋メニュー	福笑い
2 月	節分	飾り作り、豆まき	リハビリ体操
3 月	ドライブ：菜の花観賞	塗り絵	ペットボトルボーリング

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	料理教室 お花あそび	塗り絵 季節の飾り作り	リハビリ体操 ラジオ体操 口腔体操

苦情対応 苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和7年 1月6日	「左大腿骨転子部骨折」 朝食時、自身で食べ終わった食器の乗ったお盆を下膳しようと歩かれた際に、バランスを崩し転倒される。 病院を受診し、検査の結果、左大腿骨転子部骨折と診断される。	①初回利用時には職員同士が連携して、状態把握に努め、気になる点など互いに話し合うことで情報共有を行う。 ②認知症から思い・感じるままに生活行為を行うことを踏まえ、その時々的心神状態に応じた見守りや言葉かけを行う。 ③下肢筋力の低下がある場合、職員側で下膳することを説明する。 ④生活習慣や気遣いから下膳を行おうとする場合は、言葉をかけ、一緒に行う。 ⑤他者への支援に当たる場合は、言葉をかけ、注意喚起するなど、本人の状態を確認してから行う。

※ 職員間の内部研修、外部研修、避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。